

たかぎ 高木 ^{あきなり} 章成さん 33

顔



撮影・小浜誓

パソコンに向かい、頭に固定した「ヘッドポインター」と呼ばれる棒でキーボードをたたく。

脳性マヒで手足が不自由。言語障害も残るが、電気自転車を乗りこなし、東京・小金井市議

会の傍聴に足しげく通う。

「駅前の新庁舎建設は無駄」

「市長の外遊の目的は？」。市政に厳しい目を向け続ける。同市議会への昨年の陳情96件のうち半数近い47件にかかわった。

都立小金井北高で生徒会活動

に熱中するうち、「子どもの意見で社会が動く仕組みを」と思い立った。「請願は憲法で誰にも認められた権利」と他校に呼びかけ、国連の子どもの権利条約の批准や関連法改正などを国会や都議会に求めたことも。

今月3日、子どもの権利を保障し、いじめや暴力から守る市条例が成立。「9年越しの願いがかなった」と喜んだ。2001年から陳情を始め、賛同する母親らと市民団体を結成。勉強会を毎月開くなどハンデを感じさせない活動ぶり。「核となる存在として引っ張ってくれた」と母親らの信頼も厚い。

法政大大学院で障害者の就労支援政策を専攻。「障害とは一生の付き合い。だから笑って付き合い合います」（社会部 大垣裕）